



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日

上場会社名 株式会社サガミホールディングス 上場取引所 東・名  
コード番号 9900 URL <https://www.sagami-holdings.co.jp>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 大西 尚真  
問合せ先責任者（役職名） 取締役執行役員管理担当（氏名） 中島 康文（TEL）052-737-6000  
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	17,164	14.2	1,282	37.8	1,308	34.8	989	34.7
2024年3月期中間期	15,027	16.9	930	39.8	970	△26.7	734	△27.0

（注）包括利益 2025年3月期中間期 938百万円（15.1%） 2024年3月期中間期 814百万円（△22.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	32.79	—
2024年3月期中間期	24.36	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	24,595	17,451	70.9
2024年3月期	24,943	16,815	67.4

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 17,451百万円 2024年3月期 16,815百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	8.00	8.00

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注2）2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 8円00銭 特別配当 2円00銭

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	9.6	2,050	23.7	2,100	21.8	1,350	48.4	44.72

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	30,301,784株	2024年3月期	30,301,784株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	18,152株	2024年3月期	18,017株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	30,182,001株	2024年3月期中間期	30,159,447株

(注) 「株式給付信託(BBT)」制度に関する株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する自社の株式は、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりますが、上記自己株式に含まれておりません。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2024年4月1日から2024年9月30日)におけるわが国経済は、高い賃上げ率による所得の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しております。一方で、ロシア・ウクライナや中東情勢等における緊迫した世界情勢の動きに加え、円安や物価の上昇により、依然先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、経済活動の正常化による人流増加に加えインバウンドの回復も追い風となり、来店客数は順調に回復しております。しかしながら、食材の仕入れ価格、光熱費、人件費、及び物流費の高騰に加えて、継続的な物価上昇により、消費者の節約意識が高まり、依然として事業を取り巻く環境は厳しいものとなっております。

このような環境の中、当社グループは、お客様起点の視座を堅持しつつ、中期経営計画『Together』にもとづき、「共創」と「共走」を基本戦略として、外食の基本的価値である“おいしさ・おもてなしの向上”、及び「こころとからだ」の健康を目指した“食による提供価値の追求”に向け取り組んでおります。また、当社最大の経営資源である人財の「物心両面のゆたかさ」を実現し、従業員の「生きがい」と「やりがい」を両立することで、引き続きお客様への提供価値及び企業価値の向上に努めてまいります。

当中間連結会計期間においては、11店舗の新規出店やデジタル機器導入の推進、また人材の確保・定着を目的として、4月より賃金及び新卒初任給の引き上げの実施、労働環境改善を目的とした全店休業日の設定などに取り組みました。

各事業部門の概況は次の通りであります。

#### (各事業部門)

##### ① 和食麵処サガミ部門

和食麵処サガミ部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を4回実施いたしました。また、4月に「春夏グランドメニュー紹介のチラシ折り込み」、「春夏グランドメニュー訴求テレビCM」、「ゴールデンウィーククーポン配布企画」、5月に「モーニングメニューテレビCM」、「本まぐろ料理の訴求・父の日企画告知のチラシ折り込み」、7月に「夏の感謝祭テレビCM」「夏の感謝祭」、8月に「北海道と北のめぐみメニューテレビCM」、地域とコラボレーションした店舗限定イベントとして、名古屋市内19店舗で「飛騨の恵み DE なごやめしフェア」、9月に「シルバーウィーククーポン配布企画」、「北海道と北のめぐみメニュー告知のチラシ折り込み」、及び「モーニングメニューテレビCM」を各1回実施いたしました。その他Instagram、Xの公式SNSや公式アプリにてキャンペーンの情報配信も継続的に行いました。

これらの施策により、既存店売上高は前年同一期間に対して11.6%増、既存店客数は前年同一期間に対して5.6%増、客単価が前年同一期間に対して5.7%増となりました。

店舗関係では、「和食麵処サガミ 東浦店」、「和食麵処サガミ 岡崎大樹寺店」(4月)、「和食麵処サガミ 豊田錦店」(5月)、「和食麵処サガミ 港知多店」、「和食麵処サガミ 川越店」(6月)、「和食麵処サガミ 天道店」(7月)、「和食麵処サガミ 焼津西小川店」(8月)を出店いたしました。

当中間連結会計期間末での店舗数は146店舗であります。

##### ② 味の民芸部門

味の民芸部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を3回実施いたしました。また、4月に「春の感謝祭紹介テレビCM」、「春の土用フェア」、5月に「母の日フェア」、「手延べうどん食べ放題企画」、6月にうなぎ商品及び、生ビールをお値打ち販売した「父の日フェア」、「味の民芸業態紹介と季節メニュー訴求テレビCM」、7月に手羽先及びアルコール商品をお値打ち販売した「夏のごちそうフェア」、9月に「敬老の日フェア」を各1回実施いたしました。

当中間連結会計期間末での店舗数はFC店舗を含み50店舗であります。

③ どんどん庵部門

どんどん庵部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を5回実施いたしました。また、4月に「GO!どんどん庵キャンペーン」を実施いたしました。

店舗関係では、「どんどん庵 春日井白山店」(7月)を閉鎖いたしました。

当中間連結会計期間末での店舗数はFC店舗を含み30店舗であります。

④ その他の部門

大型セルフうどん店「製麺大学」では「料理フェア」を5回実施しました。

セルフ十割そば「長助」では、「料理フェア」を2回実施いたしました。また、販売促進企画として、4月に「新生活応援企画」(十割そば二代目長助)、6月に「大盛祭り」(かき揚げ十割そば長助)、一部定番メニュー切替えに伴い「新メニュー紹介企画」(十割そば二代目長助)、「十割そば二代目長助紹介テレビCM」(十割そば二代目長助)、7月に「大暑の大感謝祭」(十割そば二代目長助)、8月、9月に「夏の新メニュー訴求テレビCM」(十割そば二代目長助)、9月に「お客様感謝企画」(十割そば二代目長助)を実施いたしました。

国内店舗関係では、「十割そば二代目長助 岐阜北方店」(6月)、「十割そば二代目長助 岡崎美合店」(9月)を出店いたしました。

その一方で、「あいそ家 東浦店」、「あいそ家 大樹寺店」、「あいそ家 豊田店」(4月)、「あいそ家 港知多店」、「あいそ家 川越店」(5月)、「あいそ家 天道店」(6月)、「十割そば二代目長助 野田店」(9月)を業態転換に伴い閉鎖いたしました。

海外店舗関係では、イタリア・ボローニャ市に「SAGAMI ボローニャ店」(4月)、スペイン・マドリード市に「SAGAMI マドリード店」(8月)をFCで出店いたしました。

当中間連結会計期間末での店舗数はFC店舗を含み、国内22店舗、海外11店舗の合計33店舗であります。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は17,164百万円、営業利益は1,282百万円、経常利益は1,308百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は989百万円となり、当中間連結会計期間末のグループ店舗数は259店舗であります。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比347百万円減少し24,595百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末比1,116百万円減少し9,042百万円、固定資産は768百万円増加し15,552百万円、流動負債は前連結会計年度末比630百万円減少し4,658百万円、固定負債は352百万円減少し2,486百万円、純資産は635百万円増加し17,451百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月5日に発表した連結業績予想から修正はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,011,517	6,770,090
売掛金	1,037,529	1,042,082
商品及び製品	155,418	192,956
原材料及び貯蔵品	520,028	537,920
その他	434,047	499,487
流動資産合計	10,158,541	9,042,536
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,882,064	3,303,947
機械装置及び運搬具(純額)	565,328	729,540
土地	6,442,133	6,442,133
その他(純額)	359,535	600,078
有形固定資産合計	10,249,062	11,075,699
無形固定資産		
その他	95,538	92,842
無形固定資産合計	95,538	92,842
投資その他の資産		
投資有価証券	872,278	800,842
長期貸付金	38,889	37,273
差入保証金	1,371,404	1,404,268
長期預金	2,000,000	2,000,000
繰延税金資産	110,401	108,183
その他	47,017	33,770
投資その他の資産合計	4,439,990	4,384,338
固定資産合計	14,784,591	15,552,880
資産合計	24,943,132	24,595,417

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	842,288	829,673
1年内返済予定の長期借入金	808,802	755,650
未払金	2,204,147	2,064,324
未払法人税等	285,559	262,111
契約負債	65,206	50,357
賞与引当金	510,544	246,430
その他	571,682	449,520
流動負債合計	5,288,231	4,658,068
固定負債		
長期借入金	1,908,892	1,539,390
長期末払金	163,650	149,256
株式給付引当金	100,665	127,428
資産除去債務	559,097	569,471
長期預り保証金	70,381	68,116
その他	36,218	32,516
固定負債合計	2,838,905	2,486,180
負債合計	8,127,137	7,144,248
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,090,653	9,090,653
資本剰余金	6,192,923	6,192,923
利益剰余金	1,330,941	2,018,038
自己株式	△147,983	△148,212
株主資本合計	16,466,534	17,153,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	354,054	287,464
為替換算調整勘定	△4,594	10,302
その他の包括利益累計額合計	349,460	297,766
純資産合計	16,815,995	17,451,169
負債純資産合計	24,943,132	24,595,417

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	15,027,706	17,164,496
売上原価	4,931,068	5,460,734
売上総利益	10,096,638	11,703,761
販売費及び一般管理費	9,166,024	10,421,295
営業利益	930,614	1,282,465
営業外収益		
受取利息	711	611
受取配当金	13,416	14,181
為替差益	11,326	—
受取保険金	1,561	13,800
雑収入	19,848	6,754
営業外収益合計	46,863	35,348
営業外費用		
支払利息	2,891	1,370
保険解約損	4,014	—
為替差損	—	6,089
雑損失	216	1,862
営業外費用合計	7,121	9,322
経常利益	970,356	1,308,491
特別利益		
投資有価証券売却益	2,433	—
特別利益合計	2,433	—
特別損失		
固定資産除却損	2,456	4,282
減損損失	50,398	91,359
投資有価証券売却損	1,201	—
特別損失合計	54,056	95,642
税金等調整前中間純利益	918,733	1,212,848
法人税、住民税及び事業税	180,718	218,523
法人税等調整額	3,199	4,390
法人税等合計	183,918	222,914
中間純利益	734,815	989,934
親会社株主に帰属する中間純利益	734,815	989,934



## 中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	734,815	989,934
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85,083	△66,590
為替換算調整勘定	△5,031	14,896
その他の包括利益合計	80,051	△51,693
中間包括利益	814,867	938,240
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	814,867	938,240

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	918,733	1,212,848
減価償却費	216,844	322,857
減損損失	50,398	91,359
為替差損益(△は益)	△11,326	6,089
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,232	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,272	△264,114
株式給付引当金の増減額(△は減少)	△10,630	26,763
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△711	—
受取利息及び受取配当金	△14,127	△14,792
支払利息	2,891	1,370
固定資産除却損	2,456	4,282
売上債権の増減額(△は増加)	△13,304	△4,335
棚卸資産の増減額(△は増加)	△54,425	△55,059
仕入債務の増減額(△は減少)	△45,700	△12,793
未払金の増減額(△は減少)	29,771	△189,973
契約負債の増減額(△は減少)	△19,865	△14,849
その他	△20,648	△273,751
小計	1,041,395	835,901
利息及び配当金の受取額	13,841	14,608
利息の支払額	△2,891	△1,370
法人税等の支払額	△80,941	△240,382
法人税等の還付額	40,015	5,430
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,011,418	614,188
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△730,372	△1,101,838
投資有価証券の売却による収入	13,787	—
差入保証金の差入による支出	△24,679	△33,469
差入保証金の回収による収入	52,860	2,554
その他	△12,359	△682
投資活動によるキャッシュ・フロー	△700,764	△1,133,436
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△517,975	△422,654
自己株式の取得による支出	△276	△229
配当金の支払額	△210,896	△301,355
リース債務の返済による支出	△5,835	△5,199
財務活動によるキャッシュ・フロー	△734,982	△729,438
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,957	7,260
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△419,371	△1,241,426
現金及び現金同等物の期首残高	10,725,470	8,011,517
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,306,099	6,770,090

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

**【セグメント情報】**

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

当社グループの報告セグメントは、「外食事業」のみであり、その他の事業セグメントは重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社グループの報告セグメントは、「外食事業」のみであり、その他の事業セグメントは重要性が乏しいため、記載を省略しております。